切な炭の自然の目もよく判定でき、保安上も生産能率からみても技術も経験も浅い第二組合員を先山にしている。

会社がつねにいつている勤続、技能級とか指導者の基準とまつたくこの措置は相反する行為であり、会社は差別をおしつけ、組織の切りくずしをねらうため、あえてこのような行動をとつている。

こんなやり方は、いきおい職場ではいろいろの問題を惹起している例えば運搬関係では電車が衝突したり、採炭では危なつかしい施枠をしてみたり、作業をやつている上でハラハラするようなことが、たびたびあるし、しかもそのために能率は上がらず生産は低滞している。

### つきつきりの職制

一方、職制のわれわれにたいする態度はどうかというと総体的にいえることは殆んどつきつきりで仕事をさせ、一つの作業が終ると直ちに追加作業を命じるなど、ひどい労働強化に追い込んでいる。

ところが第二組合員にたいしては同じ雑作業をやつていても「一寸巡回に行つてくるから見張りをしていてくれ」といつて、はなはだしいときは半日もそのまま寝ころばせたり、休ませている例もある。

三本線に誇りをもつて、さあ入坑

# 就職への道けわし

## 完全就職こそ　現場の闘いの強化

離職者の一人はしみじみとこう語つていた「就職が軌道にのつておらないことに対して、離職者は非常に不安がつており、不満も強くなつている。一、二〇〇名が完全に就職しないならば、残った組合員は今まで通りたたかいが現場ではできないだろう。職場の活動者が万一退職した場合に就職もできないのだと萎縮してしまうことが一番心配だ。そうなれば三月決戦にも大量の人員整理がくるのではないかと心配する。一、二〇〇名の完全就職をかちとることこそ、残った組合員のこんどのたたかいに大きな力になると思う」無念の涙をのんで一、二〇〇名が職場を去らなければならなくなつたのは

ことを強く決意している。だが、長い年月の激烈闘争を、生活の場だがいまのところ、就職のことは手につかない状態のようである。少くとも月二、三回は呼び出しがあるのではなかろうか、そういう場合に、それを承知で果して会社が雇つてくれるだろうか、理解ある会社があれば別だが、そうはまくは行かないだろうという。裁判と就職の板ばさみになつて、確たる方針がきまつていない人が多いようである。

失業対策のワクをひろげて貰う以外方法はないのではないかという気持を抱いている人も多い。

いま離職者の中には「自分たちの対策を本当に組合は考えているのかどうか」という気持ちが一杯の人もある。みんな十二月一日の就労を大切に見守り、そのために自分たちのことをかまわずに地域で支部で頑張つてきた。少々の不安や不満があつても「就労が大切だ」の合言葉でたたかつてきた。組合としても主として就職対策よりもこれまでは就労に備えてその対策に力をそそいできた。ある離職者は「この点についても少し組合がわれわれに情宣、説明してくれたら、みんなは理解するのではないだろうか。そうでないしなんだか自分たちがないがしろにされている感じがする。」と言つている。

Aさん　夫たちの職場では差別待遇、労働強化がおしつけられており、そんな悪条件のなかで夫たちがどうこんどたたかつていくかという夫たちの職場のこと、賃金が下がつたこんどの生活面のこと、この二つの面で私たちは悩んでいます。

私たちとしてはこんど不屈にたたかい抜いた労働者の妻としての誇りを堅持しながら、お互いが十分話合つて前進しなければなりませんが、とくに気をつけなければならないのは、各家庭の経済状態がそれぞれ違うのですから、お互いがその点を十分認識して気をつけなければならないと思つています。

例えば買物をするにしても気を配るほどの神経が必要でしょう。こんど個人の面をあまり出さずつねに他の人のことを頭におくことはぜひ必要です。個人間のささいなミソや、あまりに自分一人が個人的になりすぎるのはとんどのたたかいの発展を妨げるものだと思つています。

Oさん　非常に疲れたといつて夫は帰つてきます。炭鉱労働者は一般産業の労働者にくらべて寿命が短かいといわれています。それがこんな状態になつたために、さらに夫たちの寿命が短かくなるのではないかと、とても心配しています。

だから、この状態を何とか打破らないかぎり、家族のものは不安からのがれられません。

Bさん　お互いが夫たちをいたわり励ます中で、少しずつでも失つた権利を取りもどさなければならないし、この家庭のいたわり励ましをつぎには地域へ、そして組織へと発展させるべきだと思います。

組合が今までのように強くなるかどうかは私たち一人ひとりの責任です。このことをみんなが十分自覚し、本当に立上れるだけの努力をしなくては駄目だと思います。

Aさん　私たちはこういう苦しい立場に立たされてはいても「正しかつたんだ」という誇りだけはこんども持ちつづけていきます。

みんなそれぞれ苦しい立場にあるのですが、だれ一人としてグチを表面には出されません。私は全く偉いなあと頭が下がります。

とにかく私たちはこんどのたたかいを通じて視野が広くなつたことはハツキリいえます。労働者同士の連帯感の厚さ必要さ、労働者全体が強くならなければ何にもならないこと、資本主義の矛盾、こういつたいろいろのことがハツキリとしました。

### 萎縮しては駄目だ

組合ではいま会社や第二組合の悪質な挑発をはね返して、いろんな問題は個人的な行動を慎につつしみ、組織全体の力でこれをうけとめ行動していくことにしている。そのため社宅ではお互いに行動をつつしみ合つているが、そこには、多くの苦しさが見られる。この問題に対して主婦たちは

Oさん　私たちは第二の者たちのさまざまな嫌がらせをうけます以前なら直ちに抗議行動を起こしていましたが、いまはぐつとこらえてつまらない挑発には乗らないように注意しています。だが、とても苦しいものです。やられるものなら生命をかけてでもやりたい、しかし苦しさを辛抱づよく耐えることは、とても辛いことです。

Eさん　それと私たち役員は第二組合員の組織復帰も討議して、その情宣を会員にするのですが私たちは組織の役員という自覚から感情的には第二組合員はとても憎いが、組織人として復帰説得も必要だと十分わかつているのですが、会員の側からすればもちろん理論ではわかるが、まだまだ感情面が大きく支配して、そういうことをいえばかえつて反発をくらうほどです。その辺をこんどの問題として大務心配しています。

Fさん　例えばこういうこともあります。向うの方から挨拶をしかけるので、こちらも嫌だが二言三言挨拶を交します。この場面を第三者から見るといかにも打ちとけて話をしているとも見えるのです。早速これを見た人が批判をして、ついに感情的な対立にまでなつてしまうのです。批判をする人も十分考えてもらわなければならないし、いわれた人もそうです。お互いに話合つて見れば腹を立てずに済むことです。こういうことがとくに主婦会には多いと思います。こ

# 三月を第一次目標

## 就職あっせん　中央と現地の機構強化

とんどの争議の最終段階で政府・中労委は離職者の完全就職、住宅の確保をうたい文句にした。とくに石田労働大臣は八月十日「責任を負う」と言明したじまた中労委は「現実に失業者を出さないように努める」ことを政府に要求したこのように就職対策には労金の措置がとられることを期待しつい組合では監視、要求の立場を堅持するためにも九月二十日就職対策委員会の設置をきめ、事務局を設け活動を開始したのであつた。いらい、はやくも四カ月目に入つているが、就職したものはわずか二十三名にすぎないという成績である。今日までの状況を数字で示してみるとつぎのようになつている。

離職者総数一、一七三名、うち大牟田総合相談所登録者は一、一四一名である。未登録の三一名は入院、停年退職、死亡、その他を含んでいる。

転出者は六一名うち一八名は内職「せん」と敬遠するところも出ているほどである。だが、なかには「ぜひ三池の人を欲しい」というケースも出ている。これまでに三名が就職している例さえある。

一方、闘争のなかでわれわれの先頭になつてたたかつてもらつた総評弁護団の方たちも、何とか三池の離職者を就職させたいと奔走しておられ、あらゆる中小企業をはじめ一般会社に就職口を開拓をされている。われわれとしては、このことに深く感謝しなければならないだろう。

また、三池闘争に関心をもつていた中小企業の業者からの求人も若干あり、さらに三池にきていたオルグなどがいろいろと心配して世話をしてくれている。

政府の方はどうかというと、前に述べた通り労相みずから「離職者の完全就職は責任をもつて行なう」と言明しているにかかわらず政府のいうことは「原則として職業訓練所に入所していただきたい」と主張している。また、既技術出所後の就職は一〇〇%やります」と言明したじまた中労委は「現実に失業者を出さないように努める」ことを政府に要求したこのように就職対策には労金の措置がとられることを期待しつい組合では監視、要求の立場を堅持するためにも九月二十日就職対策委員会の設置をきめ、事務局を設け活動を開始したのであつた。いらい、はやくも四カ月目に入つているが、就職したものはわずか二十三名にすぎないという成績である。今日までの状況を数字で示してみるとつぎのようになつている。

離職者総数一、一七三名、うち大牟田総合相談所登録者は一、一四一名である。未登録の三一名は入院、停年退職、死亡、その他を含

### 総評弁護団も協力

組合あっせんの方は三池闘争についても理解があり順調にすすんでいるが、総合相談所の方は一般的に三池の離職者に対する理解がすぐなく、東京、大阪、名古屋などでは雇主の方で「三池の人は……」と敬遠するところも出ているほどである。だが、なかには「ぜひ三池の人を欲しい」というケースも出ている。これまでに三名が就職している例さえある。

一方、闘争のなかでわれわれの先頭になつてたたかつてもらつた総評弁護団の方たちも、何とか三池の離職者を就職させたいと奔走しておられ、あらゆる中小企業をはじめ一般会社に就職口を開拓をされている。われわれとしては、このことに深く感謝しなければならないだろう。

また、三池闘争に関心をもつていた中小企業の業者からの求人も若干あり、さらに三池にきていたオルグなどがいろいろと心配して世話をしてくれている。

### 会社全く誠意なし

自家営業はどうかというと、現在職業別に分けて中央で折衝中である。自家営業融資は現行で普通五万円、最高の企画で将来性のある目安がつくものに限つて十万円とし、一般会社に就職口を開拓をされている。われわれとしては、このことに深く感謝しなければならないだろう。

また、三池闘争に関心をもつていた中小企業の業者からの求人も若干あり、さらに三池にきていたオルグなどがいろいろと心配して世話をしてくれている。

### 中年以上の人は訓練所で技術習得を

つぎに組合としての事業だが、現在企画中のものに自動車運送、整備事業、果樹園などあるが、いずれも慎重に調査、研究をつづけ中央で関係官庁と折衝中であり、自動車運送、整備事業については来年三月までに何らかのメドがつきそうな見とおしである。

就職問題で一番心配しているのは中年以上の人たちだ。この人たちについて就職対策部では、まず停年間近かな年令層の人たちについては極力子弟の就職あっせんに重点をおき、本人に対してはその能力に応じてあっせんする範囲にしている。でないと現実面ではなかなか解決できないだろうとみられている。この場合子弟については一人ということではなく何人でもあっせんする方針で活動している中年層に対してはできるだけ職業訓練所に入り技術をマスターしてもらいたいといつている。とくに自動車運転、建設機械などのむずかしい種目でなく、容易に技術を習得されて就職が一〇〇%の率をもつ奨カンなどに入つてもらいたいと望んでいるようだ。

### 完全就職めざし推進

以上いままでのだいたいの経過をみてみたが、組合としてはこんど来年三月を第一次の目標として全力をあげて就職に活動することとしている。一番早い人で来年三月八日には失業保険がきれるのだ。

さらに総評、炭労でも就職対策本部を設け三池、二瀬の離職者対策に専門に取り組むことになり、この機構に政治局員全員が入る。

また社会党としても就職対策委員会を設置、阿具根参議がこれにあたり、離職者の完全就職に専念することになつた。

三池としても中央の就職対策本部に北岡書記次長を常駐させることを決定した。

また、いままでの実情からみて東京、大阪、神戸、名古屋などが就職対象地区になることが多いためできれば名古屋、大阪、神戸などの関西ブロックにも一名ほど派遣し調査、あっせんなどに努力する方向をとるべきだろうということも検討が加えられている。

# 若しき闘争の決意

## 結婚の決意

とにかく私たちはこんどのたたかいを通じて視野が広くなつたことはハツキリいえます。労働者同士の連帯感の厚さ必要さ、労働者全体が強くならなければ何にもならないこと、資本主義の矛盾、こういつたいろいろのことがハツキリとしました。

### 萎縮しては駄目だ

組合ではいま会社や第二組合の悪質な挑発をはね返して、いろんな問題は個人的な行動を慎につつしみ、組織全体の力でこれをうけとめ行動していくことにしている。そのため社宅ではお互いに行動をつつしみ合つているが、そこには、多くの苦しさが見られる。この問題に対して主婦たちは

Oさん　私たちは第二の者たちのさまざまな嫌がらせをうけます以前なら直ちに抗議行動を起こしていましたが、いまはぐつとこらえてつまらない挑発には乗らないように注意しています。だが、とても苦しいものです。やられるものなら生命をかけてでもやりたい、しかし苦しさを辛抱づよく耐えることは、とても辛いことです。

Eさん　それと私たち役員は第二組合員の組織復帰も討議して、その情宣を会員にするのですが私たちは組織の役員という自覚から感情的には第二組合員はとても憎いが、組織人として復帰説得も必要だと十分わかつているのですが、会員の側からすればもちろん理論ではわかるが、まだまだ感情面が大きく支配して、そういうことをいえばかえつて反発をくらうほどです。その辺をこんどの問題として大務心配しています。

Fさん　例えばこういうこともあります。向うの方から挨拶をしかけるので、こちらも嫌だが二言三言挨拶を交します。この場面を第三者から見るといかにも打ちとけて話をしているとも見えるのです。早速これを見た人が批判をして、ついに感情的な対立にまでなつてしまうのです。批判をする人も十分考えてもらわなければならないし、いわれた人もそうです。お互いに話合つて見れば腹を立てずに済むことです。こういうことがとくに主婦会には多いと思います。こ

続いて三井鉱でのスト破り、三井獄の使者の前で、人間社会ではいかなる理屈をつけても許すことのできない殺人行為を犯した。

労働が正常な時は、可愛い子供が浮浪する父を、兄を待つていた正門前で久保さんが殺された。この事実、違法行為に対する社会世論が三井資本に対してきびしい批判の目を向けるころ、会社は周章ろう狽しておろかにも次に打つてきた手が、国家権力を正面に押し出して早急解決に焦りを見せて来た。

このような違法行為が行なわれるたび毎に、社会批判はするどく三井資本に集中した。現在ですら日本の経営者共は、自からがこしらえた社会機構の中で、企業運営が甚だしくんば常に労働者の首を切ることが当然のようにわれわれに対決してきたが、現地三池の資本家共は一方的なこの首切りを正当化するためにあらゆるマスコミを動員して、さらに国家権力の争議介入など、その影にかくれてあらゆる違法行為が白昼堂々と行なわれてきた。

しかも憲法第二十八条には労働者の保護立法として「団結権の自由」があきらかに示されている。この立法精神を三井資本は、終始踏みにじつてきたが、そのねらいは、どこにあつたか？

彼らは労働運動の自由とは資本家が安定されたときにのみ許されることであるという誤つた、また彼らに都合のよい立法解釈をこの争議解決の後に残し、一挙に労働運動の破壊を狙つたものと判断される。そのため結果としては、三井資本は、数多くの罪悪を犯したことのみが、いつの世までもわれわれの語り草となり、彼らに対する労働者全体の闘うエネルギーが強く残されたことが、彼らにとつては頭の痛いことだと思う。

だが三池でも、その権力の前に労働者の誇りと権利を自ら捨て去つていつた分子が、第二組合を結成した現実に対して、今後如何に対決していくかが、大きな課題として残されているが、だからといつて正常な労働団体として見つめる必要性はひとかけらもない。

だが三井資本は、この奇型児を一人前に育てようと全力を挙げてくるだろうが、われわれはこの奇型児がいままでどんな成長過程をたどつて来たか、その盲児カルテをいま一度よく見てわれわれの就労条件交渉の場で発揮真実ならしつたと思う。

闘争交渉において大きな成果を

至るまでの賃金保証は一〇〇%を維持した中での交渉であつた反面三井資本は、日経連及び融資関係団体からも、その事態収拾の不手際に対する批判が激しく追及されるという裏話もあつたとか。

そこでいわれることは、当時三池労組は、この闘いには負けた負けたとハデなデマまたはマス・コミがどんどん流されていたが、少なくとも本当に負けた労働組合に対して、会社が一カ月もの間一〇〇%の賃金保証をしながら、交渉をするお目出たい経営者は日本にはまだ存在していないはずだ。

もちろん、当時の復雑な情勢を背景に努力した三池労組員及び執行部の完全意志統一があつてこそ最終段階に至つて会社の譲歩があつたと判断されるが、繰り返していたい事は、内容においてはむしろきびしい困難な将来がよこたわつているが、職場の中にてんてんと配慮された三池労組員は、いわば狩り残された根強い雑草である。

根強い雑草はいかに狩りとられようともいつの間にか、縦横にその根を延ばし、たくましく成長して来た歴史に私たちは今こそ目をむけた時ではないでしようか。唯一つの心残りは、一、二〇〇名の仲間と一緒に最後まで職場を守り得なかつたこの辛い気持をお互いがいつまでも忘れまい！

スト破り殺人、第二組合、この犯人は誰か！

この真実に目をむける時、どんな甘いエサが目の前にまかれても第二組合に走ることは、許される行為ではない。

本当に長い闘争で苦しかつたが全国の仲間は、最後まで手をつないで行く強い強いきずなが大牟田を中心として全国に拡がつている事実を！

そしていま、全国の仲間は自己の権利と自由を守る闘いが進められているが、その先頭を行く仲間は俺たちと一緒にホンパースタイルで頑張つた仲間であることを三池の仲間は知つているだろうか？

とにかく、三池闘争を契機として、全国の仲間の闘いは年を追う毎にその力は、予想もつかない大きな姿となつてくるだろう。そのときこそ三井資本の孤立するときであり、資本主義社会の後退が余儀なくされる時であり、平和を愛する者たちが、その楽しさを味合うときではなかろうか、頑張れ！